

第 60 回 探 花 会

(チューリップ他)

日 程 平成 27 年 4 月 19 日 (日)
行 程 あけぼの山農業公園・布施弁財天
手賀沼・鳥の博物館・山階鳥類研究所 (外観)
参加会員 17 名

今回第 60 回節目の探花会は千葉県柏市・我孫子市近辺を探ってみました。
我孫子駅からあけぼの山農業公園行きのバスに乗り込みました。終点あけぼの山農業公園
入口で降り、公園までは 10 分ほどの田舎道を、畑を見ながら歩きました。

あけぼの山農業公園



牧歌的な風車のある風景、花壇には春はチューリップ、
パンジー、ナノハナ、夏はヒマワリ、秋はコスモスが見
られる。

4 月にはチューリップフェスティバルが開催され、1
7 万本のチューリップが競演する。

今年は品種によっては盛りを過ぎているものもある。
あけぼの山エリアの中にあり、日本庭園、茶室柏泉亭、
水生植物園ほかを見ることができる。また、バーベキュー
ガーデン、展示温室、あけぼの山郷土資料館もある。

公園に入ってすぐの本館前に、チューリップのほか、風車が見られ、この程度のものか
と見間違ふミニチュアの庭園がありました。

そこから、苑路を進み、賑やかな資料館近辺を通り抜け、日本庭園に向かいました。
日本庭園は、しっとりとしていて少しくすんだ今日の天気が似合いの静かな佇まいを
見せています。池泉回遊式の庭園を散策し、奥の茶室「柏泉亭」前の茶庭を抜ける。

布施弁財天



紅龍山東海寺にある。関東三大弁天の一つに数えられ
る。

福德・財宝・知恵・愛嬌・降魔・除病・増益にご利益
があるといわれている。

除夜の鐘は先着 108 人がつくことができ、その後は
新年の鐘をつくことになる。

日本庭園から風車の見えるチューリップ畑の脇を足
早に参道の石段を昇り布施弁財天に行くと、さすがに関
東三弁天の一つと言われるだけの格調高い本堂が見えてきました。

本堂・鐘楼・楼門はいずれも千葉県重要文化財指定されています。

ここから折り返し、サトザクラ並木の脇を通り、本日メインテーマである広大なチューリップ畑でオランダ型風車を背景に集合写真を撮った後、脇の芝生広場で昼食を摂りました。



13時半過ぎに公園を後にバスで我孫子駅にと向かいました。

農業公園とは我孫子駅の線路を挟んで反対側のバス停から手賀沼・鳥の博物館方面に

行きました。手賀沼水の館の手前に今では余りお目に掛かれなく懐かしい一面のレンゲソウ畑が現れ

ました。

手賀沼

湖沼面積6.5km²、湖沼周囲38km、平均水深0.86m、最大水深3.8m、手賀沼のほとりに位置する千葉県手賀沼親水広場は約3.3haあり、中に「広場」と「水の館」が設置されている。

いよいよ、本日最後の目的地我孫子市鳥の博物館に到着しました。

鳥の博物館

日本で唯一、鳥だけを扱っている博物館で、「人と鳥の共存をめざして」をテーマに、鳥の起源から現在まで、世界の鳥から手賀沼に住んでいる鳥までを紹介している。昨年5月18日に行った第53回探花会（バラ他）での習志野市の谷津干潟自然観察センターを思い起こさせる。



鳥の博物館ではいろいろな鳥を目の当たりにして、鳥同士の大きさが比較でき動物園で見るとは違った観点から観察することができました。

人類の起源はせいぜい500万年ほど前、鳥の起源は1億5千万年前に遡るそうですが、色とりどりの鳥たちの模型やコウノトリ・トキの剥製、エピオルニスの巨大な卵の化石、モニターによるフクロウの観察などさすがに日本で唯一鳥だけを扱

っている博物館だと感心した次第でした。

山階鳥類研究所（外観）

世界的に有名な鳥類の専門研究機関である。

所有している絶滅種や希少種を含む鳥類の標本は約6万点、貴重な文献は約4万冊に及ぶ。

見学は予約制で、毎月第4金曜日のため、本日は見学できない。

ここからまたバスで我孫子駅に戻り散会とし、アルコール組とコーヒー組に分かれそれぞれ休憩をとりました。お疲れ様でした。